

調査概要

◇調査テーマ

防災について

◇調査目的

防災について、意識調査をし、今後の参考とするために実施するものです。

◇調査実施期間

令和3年6月29日から令和3年7月13日まで

◇調査実施方法

調査人数：市政モニター 100人
調査方法：書面・インターネットを利用した調査

◇調査回答数

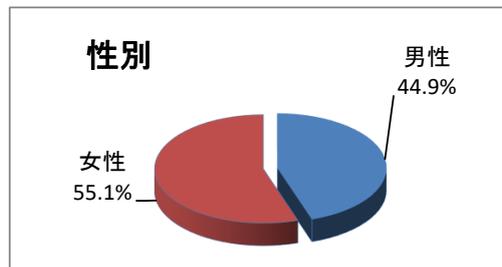
78件（回収率 78%）

回答者について

◇性別

【単位】人数：人、割合：%

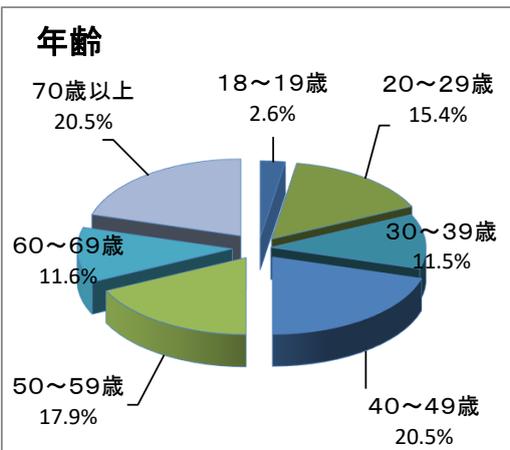
	人数	割合
男性	35	44.9
女性	43	55.1
合計	78	100



◇年齢

【単位】人数：人、割合：%

	人数	割合
18～19歳	2	2.6
20～29歳	12	15.4
30～39歳	9	11.5
40～49歳	16	20.5
50～59歳	14	17.9
60～69歳	9	11.6
70歳以上	16	20.5
合計	78	100



問1	災害に関する情報を、どのような方法で取得していますか。 (複数回答可)
-----------	--

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	テレビ	71	31.4	
2	ラジオ	14	6.2	
3	柏原市ウェブサイト	13	5.8	
4	柏原市Facebook	4	1.8	
5	スマートフォンのアプリ	36	15.9	
6	緊急速報メール (エリアメール)	46	20.4	
7	大阪府防災情報メール	13	5.8	
8	防災行政無線の屋外スピーカー放送	16	7.1	
9	広報車	6	2.7	
10	その他	7	3.1	
	無回答	0	0.0	
	合計	226		

「10 その他」の主な意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・市長のインスタ・Twitter・インターネット検索 (Yahooニュース、グーグルetc) ・大和川定点カメラで川の水位を見る・ご近所さま・地区長

問2	風水害が起きたとき、自宅の周辺が被害を受けるリスクについてどのように考えていますか。
-----------	--

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	リスクが高いと思う	39	50.0	
2	リスクが低いと思う	39	50.0	
	無回答	0	0.0	
	合計	78		

問3	【問2. で「2. リスクが低いと思う」と答えた方にお伺います】 なぜリスクが低いと思いますか。
-----------	---

	選択肢	件数	割合 (%)	
			件数	割合 (%)
1	周りに川がないから	9	23	
2	近くに崖などなく平地だから	6	15.4	
3	ハザードマップで確認しているから	8	20.5	
4	風水害自体か起こる可能性が低いと思うから	2	5.1	
5	被害を受けそうな実感がないから	2	5.1	
6	その他	5	12.8	
	無回答	7	17.9	
	合計	39		

「6 その他」の主な意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・水害→排水ポンプ施設があり、遊水地も少ないけどある為 地震→河口より遠く離れているので津波も影響は少ない ・過去、今までに災害がない・マンションに住んでいるから・他より高台で、土砂崩れの起こる地形ではない

問4	風水害などの災害に備えて、非常持出品の準備をしていますか。
-----------	-------------------------------

	選択肢	件数	割合 (%)	
			件数	割合 (%)
1	準備をしている	34	43.6	
2	準備をしていない	44	56.4	
	無回答	0	0.0	
	合計	78		

問5	【問4. で「2. 準備をしていない」と答えた方にお伺います】 準備をしていない理由を教えてください。
-----------	--

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	特に必要性を感じないから	4	9.1	
2	準備をしようとは思いますが、まだ準備できていない	15	34.1	
3	お金がかかるから	0	0.0	
4	何が必要かよく分からないから	2	4.5	
5	何から準備していいか分からないから	4	9.1	
6	置き場所に困るから	2	4.5	
7	準備しても使わない事が多いと思うから	3	6.8	
8	その他	1	2.3	
	無回答	13	29.5	
	合計	44		

「8 その他」の主な意見等
・ 保存食や水など貯えはあるが袋に入れてしまうと期限切れまで放置してしまうので普段使いで出している 持ち出しリストは作ってある

問6-A	ハザードマップについてお答えください。 A：自宅にある方
-------------	---------------------------------

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	内容をよく理解している	4	8.2	
2	内容をだいたい理解している	37	75.5	
3	内容がよく分からない	3	6.1	
4	自宅にはあるが、見たことがない	1	2.0	
	無回答	4	8.2	
	合計	49		

問6-B	ハザードマップについてお答えください。 B：持っていない方 または 自宅にあるか分からない方
-------------	---

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	見たことがあり、内容をよく理解している	1	3.4	
2	見たことがあり、内容をだいたい理解している	7	24.1	
3	見たことはあるが、内容は覚えていない	9	31.0	
4	ハザードマップは知っているが、見たことがない	9	31	
5	ハザードマップ自体どういうものか知らない	3	10	
	無回答	0	0	
	合計	29		

問7-A	以下のことを知っていますか。 A：今年の5月に「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化されました。
-------------	---

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	知っている	54	69	
2	知らない	23	29.5	
	無回答	1	1.3	
	合計	78		

問7-B	以下のことを知っていますか。 B：風水害の際に、自分が避難する「指定避難所」について
-------------	---

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	知っている	48	61.5	
2	知らない	11	14.1	
	無回答	19	24.4	
	合計	78		

問8	これまでに「指定避難所」へ避難したことがありますか。
-----------	----------------------------

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	避難したことがある	2	2.6	
2	避難したことがない	76	97.4	
	無回答	0	0.0	
	合計	78		

問9	風水害の危険が高まったとき、「どこ」に避難しますか。
-----------	----------------------------

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	自宅	15	19	
2	自宅のあるマンション等の上階	4	5	
3	災害のリスクが無い親類・知人宅	3	4	
4	ホテル・旅館	0	0	
5	マイカーの中	0	0	
6	指定避難所	41	53	
7	特に考えていない	2	3	
8	その他	5	6	
	無回答	8	10	
	合計	78		

「8 その他」の主な意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・一番近い指定避難場所は水害や津波があると水没する可能性が高いので山の上の堅下北中学校に行く ・避難する所がない・指定避難所は覚えていないが近くの学校へ避難する・親の住宅・近くの建物

問 10	同居者間で避難場所または集合場所など共有していますか。
-------------	-----------------------------

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	共有している	51	65.4	
2	共有していない	27	34.6	
	無回答	0	0.0	
	合計	78		

問 11	【全ての方】防災について、意見・要望等ありましたら、ご自由に記入ください。
-------------	---------------------------------------

	選択肢	件数	割合 (%)	
1	記入あり	55	70.5	
2	記入なし	23	29.5	
	合計	78		

主な意見等
<p>【避難所について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所が遠すぎる。近くにできないか。リビエールホールが近いが、東小学校。 ・災害があり実際避難することになった場合、プライバシーが守られていないため上も含めて周りから見えないようにプライバシー保護 TENT を常備してほしい。 ・指定避難所が柏原高校となっていますが浸水被害を受ける恐れがある。近くのマンションの高層階に一時的な避難ができるようにならないか。 ・指定避難所には直ぐに避難してもよいか。職員さんが到着しているのか分からない。 ・我が家には体が不自由で車イスを利用している父がいる。仮に避難場所が近くにあったとしてもそこで過ごすことは困難である。もし避難場所でのように過ごせるかはっきりしたものがわかれば、逃げよう、行こうと思うが、現状では行きたくても行けないというのが本心である。 ・現在町会の防災委員として活動しているが、以前から気掛りな事がある。それは、水害時の緊急避難場所（玉手小学校）へは、低地からの進入路にあり誘導に支障来たすことが、考えられる。以前あった東側からの進入路も緊急時のみ使用可能となる様見直しされては？ ・指定避難場所が東大阪大学柏原高等学校だが、入ったことがない。近隣の人に避難所を内覧させてくれる日があればいいと思う。 ・私の地域の避難場所は堅下合同会館になってる。実際に避難した経験はないが、ハザードマップなど冊子を見た限りでは、広い範囲の人の避難場所になっており、それだけの人が実際避難できるのか疑問に思う。また距離的にも避難するには長い。もう少し細かい、多数の避難場所を確保する必要がある。 ・家族4人なので避難場所の共有化をしたいと思います。 ・高齢者向きの避難所が少ないではないですか。民間のマンション等と交渉して一時避難所等にするべきである。 ・市の指定避難所が遠い所ばかりなのと、安全確保のところが少ない建設より40年経過した建物ばかりです。再検討を要します。 <p>【防災無線について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線のスピーカーから遠いため聞き取れない。増設はできないか。鳴るたびに何かあるのか不安になる。 ・屋外スピーカーで「こちらは柏原市です」に続く言葉が反響して、ほとんどの場合何を言っているのか家内にいるとわからない。外でスピーカーの近くだと聞き取れる事もあるが、こだまする分を考えて、ゆっくり間隔を開けて放送してもらえると聞こえやすいかと思う。大雨だと更に聞き取れず、警報のサイレンの方が避難しなければ、という緊張感に繋がるのでは、と思う。サイレンが警戒レベル4での発令だと納得して避難する。 ・街で流れているアナウンスが聞きにくいので、アナウンスを流した際は市のウェブサイトの内容を記載して欲しい。 ・国分中学校から放送される音声がほぼ聞き取りにくくて困っている。音質を硬めにするとか、改善してほしい。 ・もし何かあった時に屋外スピーカーや車で呼びかけをしてくれると思うが、知人に耳が不自由な方がいる。家に居ると補聴器もしていないので聞こえないと思う。近所の呼びかけや家族からの連絡等以外に何か危険を知らせる方法はあるのか？

【ハザードマップについて】

- ・内水ハザードマップに調査不十分と思われる箇所があると思われる。作成に当たっては市議や区長会などの意見を聞くことが望ましいと思う。
- ・ハザードマップをわかりやすく道路に表示しておいて欲しい。
- ・ハザードマップがどこにあるか分からない。
- ・ハザードマップありがたい。それをもとに家族と災害時の話をしたりしている。ハザードマップを見るたびにもし洪水が起きたら国分駅周辺が水没するのが気になっている…地形は変えられないが水没した場合、緊急車両などの通行が難しいのかなと思う。

【学習や啓発等について】

- ・市としての学習会を設定していただけたらと思った。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんより、大学生や社会人が防災の意識が低いと思うので、駅やバス停にポスター等があるといいと思う。
- ・新型コロナウイルスで開催は難しいかもしれないが、この情勢が落ち着いたら、大和川で開催されていた防災関連のイベントを行って欲しいと思う。
- ・柏原市民は、防災については、市まかせで何とかなると思いきりあまり気にかけている人は少ないと思う。取り組みとしては、大県神社にある防災の看板はよいと思う。多くの人がお参りする場所にあることで柏原市全体のものとなっている。神社にお参りした人が看板を見ている姿を何度も見ている。その他、市の広報を使って市としての学習会を計画してもいいのではないかと。柏原市に新しく来られた人は、あまり市全体のことについては知らない人が多いと思う。現在、大和川の改修工事も計画的に行っていることを知らせ、防災＝命を守るを合言葉に親子が共に学ぶ場を提供してほしい。
- ・普段から、防災に関する啓発を機会を見つけて行う必要があるのでは。
- ・今回のアンケートで自分自身防災に対する意識が低いと感じ、防災の事を考える機会がもっとあればいいなと思った。例えば、柏原市限定オリジナルカレンダーのような物を作って各場所の写真などを少しオシャレに加工してそこに文字やイラストを加えたりした様なアイテムがあればいいなと思う。各家庭で飾りたくなるようなスタイリッシュさで、でも分かりやすく内容の濃いものがあればいいなと思う。柏原市民の防災の意識が高まり何かあったときに団結できればいいなと思う。

【その他】

- ・脳出血のあと、左手・左足に不自由になってしまったけど、災害にそなえてがんばって行こうと思う。
- ・年に1回又は複数回、柏原市全体の防災訓練等の実施と地域ごとの防災訓練がおざなりなことしか行っていないので、実際に住民（地区ごと）の意識がバラバラで統一性がなくその場しのぎになりやすく、国民性の熱しやすくさめ易い状態であると思う。又、コロナ感染も災害なので情報の開示も出来るだけお願いしたい。
- ・府営住宅や駅前40年は建っているコンクリートのビルがある。耐震強度の基準を満たしている建物か否か誰の目で見てもわかるようにして欲しい。府営住宅の傍には避難場所の中学校があり、駅前には生活の中心である。そこには大きな被害があれば周辺の住民は逃げようがないし、心配である。
- ・非常持出品の準備をしていない理由について、大変に悪いことであるがあまり実感が湧かない。
- ・柏原市は避難情報の発表が、他の地域に比べて比較的遅い。それから、避難勧告（避難指示）が発表された際、すぐに指定避難場所へ行っても開錠されるまでの時間が掛かっている。速やかな連携や動きが重要だと感じる。
- ・いつ、どこで、どんな災害が発生するか、確実に断定することは不可能である。災害が発生した後にその原因や結果について各専門者によっても批評されている。
- ・テレビで被災して悲惨な状況を見るたび、明日は我が身と思いつつ、柏原は大丈夫と楽観している状態である。
- ・熱海での土石流災害が柏原で起こるかと思うと恐ろしい。市役所の庁舎が新しくなってよかったと思う。
- ・柏原市は、大和川と山に囲まれているため非常に心配している。
- ・柏原市は山が多いため、大雨による土砂災害が不安に思う。
- ・市役所の方が、車（公用車）で「避難指示」を呼びかけてもらおうと助かります。自宅の方が安全か、避難所へ行った方が安全なのか、解らない場合があるから。夜になると動くことは、危険なので自宅の2階に居ると思います。大雨豪雨は怖いです。
- ・避難場所を教えてください。
- ・柏原市は大和川があるわりには、大雨等の際に情報発信する手段や、通知方法が少ないと思う。上流での雨量による今後の増水の可能性や、柏原市での危険地域が適時にわかるサイト等あれば助かる。河川カメラのサイト等で危険地域を見たりするが、そういうのが柏原市独自で一本化であればいいなと思った。
- ・私の住居は、土砂災害警戒区域である。警戒区域指定地域だから、ちゃんと逃げてくださいと言われても、それしか方法がないかもしれないが、車はないし、子どももいるし、避難した先が、安心して避難できるのか子どもはアレルギー、アトピーがあり、私も薬があるので、避難しても沢山の不安があり、結局出来ずにいる。前の山や周囲の山も、持ち主の方がいるとかで、手入れされず、大きな木が家の前にあり、竹も沢山あがってきている。防災のアナウンスも何を言っているかわからず、ここだけではないのは承知しているが、気候の変化もあり、不安が多くある。今、住んでいる所がどういう状況で危ないのか、避難先は、災害時、いつ行っても準備されているのか、人がいるのか、知りたいことが沢山である。高齢の方も多いので更に不安である。避難先への訓練や見学があってもいいかもしれない。
- ・市と町会が連絡しあって、市民に連絡してほしい。